

全国



第2124・5号

ぜんこくしぎかいじゅんぽう

市議会旬報

令和2年 (2020年) 7月5日
毎月3回5の日に発行
発行 全国市議会議長会

〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-2
代表 TEL 03 (3262) 5234
旬報 TEL 03 (3262) 2309
発行人 滝本 純生
http://www.si-gichokai.jp



議長会HP

— 野尻会長発言要旨 —

【地方行政デジタル化】

経済効率性、企業利益だけが優先されないよう、自治体などの受益者が納得できる形で。

【公共私連携】

人的・財政的支援を。疲弊する自治会等を再生する方策にも配慮を。

【広域連携】

広域連携では、中心地と周辺市町村の「対等」関係を基本に現場に任せてほしいという思いが必要。中心市と周辺市町村の関係がぎくしゃくする本質的な要因は「推進要綱」自体にある。「推進要綱」を抜本的に見直し、「主導・参画」関係に基づく連携協約に加え、「対等」「共同」関係の方式も選択できるように求めたい。

【地方議会】

請負禁止要件緩和など速やかな法改正を。議員の法的位置づけ、厚生年金への加入実現への取り組みも。



Web会議に出席する野尻会長 (大分市)

同調査会は、高齢者人口がピークを迎える2040年頃を見据え、諸課題に対応する地方行政のデジタル化推進を提言した。

第32次地方制度調査会は6月17日、第5回総会をWeb会議で開き、人口減少社会での地方行政の在り方についての答申を取りまとめ、同26日に安倍晋三首相に提出した。本会をはじめ地方側が強い懸念を表明した広域連携の法制化については賛否併記の上、引き続き検討する必要性を明記。また、新型コロナウイルスの感染拡大などを踏まえ、地方行政のデジタル化推進を提言した。

制調申 地答 野尻会長懸念「推進要綱見直しを」

広域連携法制化 賛否併記

会場で本会をはじめ地方側が強い懸念を表明しており、答申では「特定の枠組みへ誘導され、市町村の自主性を損なう」「法制化以外にも対応方策が考えられる」との地方側の意見を紹介した。

一方で「市町村の参画を担保する確実な方策は法制化だ」「関係市町村が自ら選択する仕組みであれば誘導の懸念は当たらない」などの推進派の意見も併記し、「その是非を含めて関係者と十分な意見調整を図りつつ検討がなされる必要がある」と検討を継続していくと必要性を強調した。

総会で意見表明に立った本会の野尻哲雄会長(大分市)は、「中心市と周辺市町村の関係は『対等』を基本に現場に任せたい」という私どもの思いが必ずしも十分に反映されていない」と内容に不満を示し、将来、財政的な問題から「多くの市町村が『自主的な取り組み』の名の下、特定の方式に誘導される懸念が残る」と述べた。

同会長はまた、現在、全国で取り組まれている「定住自立圏」「連携中枢都市圏」構想についても、「中心市」「主導」、周辺市町村「参画」の一対一の関係しか認めていない」と中身に不備があると指摘し、関係市町村が多様な方式を選択できるように両構想の「推進要綱」を抜本的に見直すよう改めて求めた。

今回の答申ではまた大きな柱として「地方行政のデジタル化」を取り上げ、自然災害や感染症リスクなどに対応するためデジタル化を推進する必要性を指摘。具体的に住民基本台帳や税務の基幹システムについて標準化を早急に進めたり、AIなどの最先端技術を活用したりすることなどを提言した。

三連載①三

多賀城市

副会長市紹介



市章

1300年事業調査特別委員会（全議員で構成）を設置している。

伏谷議長の話



伏谷修一議長



多賀城碑
(写真提供＝多賀城市)

作成。円と、平行する斜線の美しさにより動的な市の発展と市の和合、平和を表している。市の木は晩秋に開花するサザンカ。市の花は市内に自生する多年草あやめ。平成25年7月に「全国市町村あやめサミット」を開催した。

【市の概要】

- ▽人口 6万2869人 (今年6月1日現在)
- ▽面積 19・69km²
- ▽歴史・沿革 東北地方を代表する歴史に彩られた都市。奈良・平安時代、多賀城（創建724年）に陸奥国の国府が置かれた。日本三古碑の一つである多賀城碑（壺碑）があり、江戸時代には松尾芭蕉が訪れ、目にした感動を「奥の細道」に記している。昭和46年11月1日市制施行。
- ▽シンボル 市章は多賀城の「多」を圖案化して

【議会の概要】

- ▽議員定数 18人（現在・男性14人、女性4人）
- ▽前回選挙 令和元年9月1日。無投票（前々回平成27年8月30日。立候補21人、投票率43・91%）
- ▽議会トピックス 多賀城創建1300年の節目となる令和6年に向け、今年6月、国特別史跡の同城跡の南門・築地塀復元事業が始まった。この事業に対し、市議会として必要な調査、提言などを行う「多賀城創建

多賀城市は宮城県の大平洋岸に位置し、周辺には県庁所在地の仙台市や日本三景の松島などがあ

ります。市の名称の由来となつてゐる「多賀城」

は、約1300年前の奈良時代に国府と鎮守府が置かれ、東北の政治・軍事・文化の拠点として栄

えました。現代に残る多賀城跡は、平城宮跡（奈良県）、大宰府跡（福岡県）

とともに日本三大史跡に数えられており、現在は

県立の東北歴史博物館や市立図書館など文化施設

が充実しています。皆様

の御来訪を心よりお待ちしております。

◆役員市紹介◆
副会長・監事・部会長市について紹介する連載を今号から始めます（昨年度の旬報で紹介した市を除く。順不同）

議会人事

- ▽議長 増田雅伸(4.24)
- ▽御前崎 佐藤 孝(4.28)
- ▽田村 大橋幹一(5.1)
- ▽中野(長野) 町田博文(5.1)
- ▽安城 大屋明仁(5.1)
- ▽始良 東馬場弘(5.1)
- ▽大垣 田中孝典(5.7)
- ▽愛西 島田 浩(5.8)
- ▽清須 成田義之(5.8)
- ▽美濃 辻 文男(5.8)
- ▽明石 千住啓介(5.8)
- ▽桜井 我妻 力(5.8)
- ▽伊予 正岡千博(5.8)
- ▽行橋 澤田保夫(5.8)
- ▽高山 倉田博之(5.11)
- ▽御所 南 満(5.11)
- ▽福山 小川真和(5.11)
- ▽美祿 竹岡昌治(5.11)
- ▽土佐 田村隆彦(5.11)
- ▽上越 飯塚義隆(5.12)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸 野下達哉(5.12)
- ▽江南 庄田昭人(5.12)
- ▽瑞穂 三浦隆利(5.12)
- ▽相生 小林千津子(5.12)
- ▽小野 齊藤朋子(5.12)
- ▽香南 榊原洋二(5.13)
- ▽豊川 友松孝雄(5.13)
- ▽春日井 日比野郁郎(5.13)
- ▽津島 青山直道(5.13)
- ▽長久手 山本洋信(5.13)
- ▽熊野 山田紘治(5.13)
- ▽羽島 西村元秀(5.13)
- ▽大和高田 東川勇夫(5.13)
- ▽三好 多田 敬(5.13)
- ▽豊田 山田主成(5.14)
- ▽蒲郡 大竹利信(5.14)
- ▽豊明 毛受明宏(5.14)
- ▽山県 武藤孝成(5.14)
- ▽岸和田 河合 馨(5.14)
- ▽笠岡 藤井義明(5.14)
- ▽国東 大谷和義(5.14)
- ▽出水 杉本尚喜(5.14)
- ▽大船渡 淵上 清(5.15)
- ▽砺波 山本善郎(5.15)
- ▽佐倉 爲田 浩(5.15)
- ▽名古屋 中里高之(5.15)
- ▽貝塚 阪口芳弘(5.15)
- ▽枚方 野村生代(5.15)
- ▽三木 中尾司郎(5.15)
- ▽宇陀 山本裕樹(5.15)
- ▽三次 新家良和(5.15)
- ▽飯島 進(5.12)
- ▽渡辺 務(5.12)
- ▽富津 富田宗一(5.12)
- ▽瀬戸

▽江南	▽瀬戸	▽富津	▽伊那	▽上越	▽宮崎	▽土佐	▽美祢	▽福山	▽御所	▽多治見	▽高山	▽岩倉	▽綾瀬	▽杵築	▽行橋	▽伊予	▽桜井	▽明石	▽美濃	▽清須	▽愛西	▽大垣	▽始良	▽浅口	▽丹波篠山	▽安城	▽中野(長野)	▽田村	▽佐渡	▽御前崎	▽副議長	▽豊島	▽藤井寺												
中野裕一(5.12)	西本潤(5.12)	平野英男(5.12)	唐澤稔(5.12)	波多野一夫(5.12)	松山泰之(5.11)	糸矢幸吉(5.11)	山中佳子(5.11)	大田祐介(5.11)	武藤公介(5.11)	寺島芳枝(5.11)	松山篤夫(5.11)	鬼頭博和(5.11)	笠間昇(5.11)	堀典義(5.8)	小堤千寿(5.8)	高田浩司(5.8)	金山成樹(5.8)	佐々木敏(5.8)	佐藤好夫(5.8)	小崎進一(5.8)	神田康史(5.8)	丸山新吾(5.7)	谷口義文(5.1)	佐藤正人(5.1)	小島政行	深津修(5.1)	松野繁勇	半谷理孝(5.1)	櫻井勝(4.24)	村上宇一(5.25)	山本忠司(5.22)														
▽宇陀	▽三木	▽枚方	▽貝塚	▽名古屋	▽三島	▽佐倉	▽太田	▽砺波	▽大船渡	▽出水	▽国東	▽笠岡	▽岸和田	▽山県	▽豊明	▽蒲郡	▽豊田	▽横須賀	▽三好	▽大和郡山	▽熊野	▽羽島	▽大和高田	▽長久手	▽犬山	▽津島	▽春日井	▽豊川	▽香南	▽小野	▽相生	▽瑞穂													
菊岡千秋(5.15)	大西秀樹(5.15)	山口勤(5.15)	前園隆博(5.15)	山田昌弘(5.15)	堀江和雄(5.15)	平野裕子(5.15)	正田恭子(5.15)	雨池弘之(5.15)	三浦隆(5.15)	鶴田均(5.14)	元永安行(5.14)	齋藤一信(5.14)	岩崎雅秋(5.14)	古川雅一(5.14)	鵜飼貞雄(5.14)	大向正義(5.14)	山口光岳(5.14)	渡辺光一(5.14)	古井孝司(5.13)	堀川力(5.13)	大橋秀行(5.13)	豊島保夫(5.13)	森本尚順	山田かずひ	柴田浩行(5.13)	安井貴仁(5.13)	小原哉(5.13)	堀内重佳(5.13)	上田瀧雄(5.12)	山本悟朗(5.12)	森下高明(5.12)	若井千尋(5.12)													
▽高浜	▽浜松	▽静岡	▽北	▽坂出	▽京丹後	▽富田	▽泉佐野	▽四日市	▽一宮	▽伊勢崎	▽高崎	▽真岡	▽魚津	▽三原	▽彦根	▽大津	▽八尾	▽池田	▽中津川	▽鈴鹿	▽警田	▽日進	▽北名古屋	▽藤岡	▽警田	▽日進	▽北名古屋	▽新居浜	▽善通寺	▽高松	▽美馬	▽府中(広島)	▽三次												
柳沢英希(5.20)	波多野亘(5.20)	早川清文(5.20)	坂口勝也(5.20)	鳥飼年幸(5.19)	浜岡大二郎	村山理恵(5.19)	大庭聖一(5.19)	村山繁生(5.19)	則竹安郎(5.19)	宮田芳典(5.19)	長壁真樹(5.19)	久保田武(5.19)	寺崎孝洋(5.19)	新元昭(5.18)	野村博雄(5.18)	幸光正嗣(5.18)	田中慎一(5.18)	山元建(5.18)	島崎保人(5.18)	南条雄士(5.18)	高田正人(5.18)	青山耕三(5.18)	清水晃治	丸山保(5.18)	高田正人(5.18)	青山耕三(5.18)	田窪秀道(5.15)	川向武(5.15)	佐藤好邦(5.15)	中川重文(5.15)	三藤毅	山村惠美子(5.15)													
▽堺	▽高槻	▽守口	▽門真	▽高石	▽西予	▽豊中	▽藤井寺	▽豊島	▽伊達(福島)	▽佐渡	▽砺波	▽坂井	▽東松山	▽静岡	▽御前崎	▽名古屋	▽愛西	▽岸和田	▽門真	▽荒尾	▽始良	▽徳島	▽堺	▽高槻	▽守口	▽門真	▽高石	▽西予	▽豊中	▽藤井寺	▽豊島	▽伊達(福島)	▽佐渡	▽砺波	▽坂井	▽東松山	▽静岡	▽御前崎	▽名古屋	▽愛西	▽岸和田	▽門真	▽荒尾	▽始良	▽徳島
米田敏文(5.20)	吉田稔弘(5.20)	甲斐礼子(5.20)	岡本宗城(5.20)	東野隆史(5.20)	山本英明(5.20)	坂口福美(5.22)	伊藤政一(5.22)	河原弘明(5.25)	高野真治	山本雅明(4.1)	村井一仁(4.1)	矢尾昭宏(4.1)	山下弘樹(4.1)	新村敏明(4.1)	鈴木弘康(4.1)	津坂昌樹(4.1)	近藤ゆかり(4.1)	山本隆彦(4.1)	岡一十志(4.1)	前田偉知雄(4.1)	迫田耕蔵(4.1)	尾崎覚(4.20)	米田敏文(5.20)	吉田稔弘(5.20)	甲斐礼子(5.20)	岡本宗城(5.20)	東野隆史(5.20)	山本英明(5.20)	坂口福美(5.22)	伊藤政一(5.22)	河原弘明(5.25)	高野真治	山本雅明(4.1)	村井一仁(4.1)	矢尾昭宏(4.1)	山下弘樹(4.1)	新村敏明(4.1)	鈴木弘康(4.1)	津坂昌樹(4.1)	近藤ゆかり(4.1)	山本隆彦(4.1)	岡一十志(4.1)	前田偉知雄(4.1)	迫田耕蔵(4.1)	尾崎覚(4.20)

【お詫びと訂正】
本紙第21223号5面
記事中央5段目12行目の議
長表彰のうち、「前田年久
(伊万里市)」とあるのは、
「前田久年(伊万里市)」の
誤りでした。深くお詫び
申し上げます。



横浜市役所新庁舎 (同右)



議場 (写真提供=横浜市)

新庁舎落成
▽横浜市(神奈川県)
〒231-0005
横浜市中区本町6-50-10
電話番号、ファクス番号
は変更なし
議会フロアは3階およ
び5・8階。誰もが安心
して傍聴することができ
るよう親子傍聴室を新設
したほか、全ての委員会
室に傍聴室を設け、開か
れた議会を実現している。

▽弥富市(愛知県)
〒498-8501
弥富市前ヶ須町南本田
335
電話番号、ファクス番号
は変更なし

【お問い合わせ】
全国市議会議長会総務部
03-3262-1523 4

「議会人事」のご報告
は本会ホームページのオ
ンライン・調査回答シス
テムにて、「新庁舎落成」
のご報告は、お電話にて
承っております。
なお、紙面構成上の都合
により、ご報告から掲載
までお時間をいただく
場合がございますので、
予めご了承いただきま
すようお願い申し上げます。

本紙に掲載してあり
ます「議会人事」および
「新庁舎落成」の報につ
きましては、本会に報告
のあった市区を掲載して
おります。
「議会人事」のご報告
は本会ホームページのオ
ンライン・調査回答シス
テムにて、「新庁舎落成」
のご報告は、お電話にて
承っております。

本紙に掲載してあり
ます「議会人事」および
「新庁舎落成」の報につ
きましては、本会に報告
のあった市区を掲載して
おります。

「議会人事」のご報告
は本会ホームページのオ
ンライン・調査回答シス
テムにて、「新庁舎落成」
のご報告は、お電話にて
承っております。

全国市議会議員互助会の保険

全国市議会議員団体補償制度のご案内



議員専用ページ掲載中

全国市議会議員互助会は、全国の市議会議員の相互の交流親睦を深め、相互扶助を行うことを目的に、任意加入の保険として傷害総合保険の「全国市議会議員団体補償制度」と疾病やけがによる入院・手術を補償する「全国市議会議員医療保険制度」の事業を行っています。

今回は、令和2年8月1日から保険期間が更新となる「全国市議会議員団体補償制度」についてご案内します。

「けがの補償」「賠償の補償」充実の補償をご提供

同団体補償制度は、議員の皆様の福利厚生制度の一環として、日常生活における「けが」と「賠償」をセットで補償する保険です。一般の保険に加入するよりも有利な保険料・補償範囲となっています。「けがの補償」は、日本国内・海外を問わず、通勤途上、公務中、家庭

き、加入に際して医師の審査は不要です。夫婦型への加入で、配偶者も保険の対象となります。

また、議員を退職される方で、保険契約の継続を希望される場合は、引き続き加入することができます。

保険期間は8月1日から中途加入も随時受付

保険期間は、毎年8月1日から1年間で、中途加入も随時受け付けており、特段の申し出がない限り、翌年度以降も自動更新となります。

「賠償の補償」は、本人だけでなく、配偶者や同居の親族などが日常生活において、他人をけがさせたり、他人の財物を壊したりしたことにより、法律上の賠償責任が発生した場合に補償します。

加入対象は市議会議員夫婦型で配偶者も補償退職後も継続加入可

市議会議員の皆様であれば、どなたでも加入で

に関係なく、本人型は月額3,800円、夫婦型は月額6,200円となっています。

詳しくは、パンフレット(6月19日付にて各市議会事務局に送付)をご覧ください。資料(無料)

を希望の方は、全国市議会議員互助会までお気軽にお問合せください。☎03-3262-15233

全国市議会議員団体補償制度の概要

全国市議会議員 団体補償制度のご案内

ケガの保険 (傷害総合保険)

月額3,800円(夫婦型は6,200円)で充実の補償をご提供!!

※加入対象者:市議会議員の皆さま(議員退職後も継続して加入できます。)

制度のポイント

- ポイント1** 保険料(3,800円/月)が割安! 最大死亡・後遺障害保険金額3,000万円の補償
団体契約による割引がなければ保険料は本人型で4,750円/月となります。
- ポイント2** 地震・噴火、またはこれらによる津波に起因する死亡・後遺障害・入院・通院も補償します!
- ポイント3** 個人賠償はご家族も補償します!
日常生活で生じた自転車事故等により法律上の損害賠償責任が発生した場合に補償対象となります。職務遂行や自動車に起因するものは対象外となります。

◎たとえばこんな場合、補償の対象になります。



議員活動中の事故によるケガ 地震によるケガ 自転車でも他人にケガを負わせた

このご案内は概要です。詳細はお問い合わせください。

保険金額と保険料

加入タイプ	保険期間:2020年8月1日午後4時から1年間 (団体割引20%) (保険期間1年、職種級別A級)		
	本人型	夫婦型	
ケガの補償の対象者	本人	本人	配偶者
補償内容	保険金額		
死亡・後遺障害	3,000万円	3,000万円	2,000万円
入院保険金日額	11,000円	11,000円	10,000円
通院保険金日額	5,200円	5,200円	4,100円
個人賠償責任	2億円	2億円	
月払保険料	3,800円	6,200円	

天災危険補償特約・後遺障害等級既定補償特約(第1級~3級)・手術保険金倍率変更特約および重大手術保険金倍率変更特約セット

※手術保険金は、入院中の手術は入院保険金日額の20倍、外来の手術は入院保険金日額の5倍、入院中か外来にかかわらず重大手術に該当する手術は入院保険金日額の40倍の額をお支払いします。